

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	24147
事業名	多文化共生推進費					
評価担当課	所 属	総)国際部 国際課			電話番号	011-211-2032
施策名	年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	人口減少・少子高齢化を背景に、国は外国人材の受入れと共生を推進しており、日本語教育法の制定や中長期の滞在を前提とした在留資格の創設などを実施。札幌市でも外国人市民が増加しており、2024年7月1日時点で初めて19, 000人を突破した。また、札幌市では海外企業誘致拡大やGXの推進を掲げており、こうした側面からも外国人市民の増加が予測されることから、新たなニーズへの対応や外国人子女の教育環境整備など、国籍にかかわらず誰もが安心して暮らし、活躍できる環境整備が急務となっている。
	事業内容(何を実施し)	外国人の不便不安の解消や地域の安定・調和を図るため、次の事業を実施する。①さっぽろ外国人相談窓口:行政手続きや暮らしに関する相談・情報提供。②生活オリエンテーション:生活ルール・生活習慣などを学ぶガイダンスの実施。③行政サービスの翻訳通訳支援:外国人に必要な情報を一元的に掲載したホームページを運用するほか、コミュニティ通訳の育成・派遣。④医療受診コミュニケーション支援:病院受診・予約時の医療通訳体制の構築。⑤日本語習得支援:日本語教室の開催や日本語学習支援者の育成。⑥災害時の外国人支援:災害時に避難所等で外国人の支援を行うボランティアチームの育成。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	外国人生活者の孤立化を防止し、地域コミュニティの安定・調和に資する異文化理解を図ることにより、外国人市民と日本人市民の誰もが安心して安全に暮らせる共生社会を実現する。
	他都市の状況	各都市において、多言語総合相談窓口の設置、医療通訳体制や日本語習得支援体制の整備をはじめとした外国人の暮らしやコミュニケーションをサポートする様々な事業を実施している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	35,271 千円	うち特定財源	35,271 千円	正規職員業務量	0.6 人工
令和5年度予算額	37,000 千円	うち特定財源	11,652 千円	正規職員業務量	1 人工
令和5年度決算額	34,952 千円	うち特定財源	34,952 千円	正規職員業務量	1 人工
令和6年度予算額	51,000 千円	うち特定財源	10,783 千円	正規職員業務量	3 人工

指標	アウトプット活動指標1	市とともに共生社会の実現に取り組む団体・企業等			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		20	24	29	29	32	36
	↓						
	アウトカム成果指標1	札幌に住み続けたいと思う外国人の割合			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		46	48		50	52	54
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	多文化共生社会の実現に向けては、市だけでなく、市民活動団体や企業等との連携が必要不可欠であり、今後も関係各所と協力関係を構築していく。併せて、札幌市に住み続けたいと思う外国人市民の割合を増やせるよう(隔年で調査)、今後も適切にニーズを把握し事業を展開していく。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	さっぽろ外国人相談窓口の運営時間の延長・札幌メディカルコミュニケーションホットラインの通年化・日本語習得支援事業における日本語教室の授業数増
来年度以降の方向性	日本語習得支援、医療受診コミュニケーション支援等、事業の効果的な実施について検討し、引き続き外国人の暮らしに関わる支援を行っていく。また、日本人・外国人双方の多文化共生意識の啓発を図っていく。